

## 【水の里の旅コンテスト2015 応募企画】

鹿児島県さつま町観光特産品協会

鶴田ダム再開発インフラツアー

観光地域名：鹿児島県 さつま町

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	春・夏（5月、7～8月）		
【催行人員】	名（最少催行人員： 1名）	【お勧めする旅行者層】	小学生～大人
【旅行代金】	26,420円 (大人1名)	【内 訳】	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊代（1泊2食（夕・朝）付き 大人8,000円～（※宿泊施設によって差額が発生））</li> <li>・食事代（昼食 800円）</li> <li>・ホテル舟乗船料（大人1,500円、子ども1,000円（保険料込））</li> <li>・ガラス工芸製作体験料（1,080円～） ・観光ガイド料（1,000円～）</li> <li>・レンタカー代（コンパクトカー2日間 14,040円）</li> </ul>	
【企画趣旨】			
<p>本ツアーは、「ダム」という社会インフラを観光スポットとして捉え、さつま町やその周辺に存在する地域資源を組み合わせましたものです。日本最大級のダム再開発事業や普段は入れないダムの内部の見学など、「今だけ」・「ここだけ」でしか体験することのできない「限定」メニューをツアーに組み込んでいます。</p> <p>体験型メニューは、開催時期に応じて内容が変わります。例えば、5月中旬から下旬に運航される奥薩摩のホテル舟（川内川を船頭による棹さし舟でゆっくりと下り、両岸に飛び交うホテルの乱舞を間近で観賞。ホテル舟は全国でも2～3ヶ所しか運航されておらず、九州内ではさつま町だけ。）への乗船や、きらびやかな薩摩切子製作体験を準備し、さらには、歴史的産業遺産の見学として、鶴田ダム上流に位置し、寛永17年からおよそ300年間の歴史を刻んできた永野金山遺構を見学できます。</p> <p>なお、本ツアーの対象は、さつま町内の旅館等に宿泊された旅行者とし、鶴田ダムの再開発現場見学を無料で実施しています。町内にある宮之城温泉郷・紫尾温泉郷は、県内でも「美人の湯」・「神の湯」として有名で、温泉愛好家からも泉質の良さに定評があります。本ツアーでの移動は、鹿児島空港もしくは鹿児島中央駅でレンタカーを借用する場合で企画しています。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足度を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
鶴田ダム再開発現場見学は、国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所及び鶴田ダム管理所の協力により、同省職員が安全面に留意しながら、ガイドとして説明をしていただきます。（現場見学中は、ヘルメットを装着します。）		本ツアーのポイントは、「今だけ」・「ここだけ」という点にあります。国内最大級のダム再開発事業のスケールの大きさや普段見ることのできないダム内部や操作室の見学、ホテル舟乗船など、参加者に驚きと感動いっぱいの体験をしてもらうことができます。	
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① 国土交通省九州地方整備局 川内川河川事務所	鶴田ダム再開発現場見学案内	⑤ さつま町飲食業組合	町内飲食店での昼食対応
② 国土交通省九州地方整備局 鶴田ダム管理所	鶴田ダム再開発現場見学案内	⑥ さつま町役場	企画協力・PR
③ さつま町宮之城温泉組合	宿泊先対応	⑦ 奥薩摩・水と緑の郷づくり推進協議会	PR、特産品プレゼント提供
④ さつま町紫尾温泉組合	宿泊先対応	⑧	
【特記事項】	鹿児島県さつま町は、鹿児島県の北西部、鹿児島市から約50kmのところのところに位置し、人口は約2万3千人。周囲は山々で囲まれ、その中を九州で第2位の流域延長を誇る一級河川の川内川が貫流しています。昭和41年3月に鶴田ダムは竣工。平成18年7月に川内川観測史上最大の洪水が発生。平成19年4月から鶴田ダム再開発事業が着手されています。なお、鶴田ダム再開発工場のインフラツアーは平成26年度から催行されていますが、本ツアーは体験メニュー等を追加したものです。		
【催行実績】	有り		

【 行 程 表 】	
1日目	<p>( 昼 ) 12 : 15 ( 12 : 45 ) 鹿児島中央駅 ( 鹿児島空港 ) ( レンタカーを借用 )  さつま町までは鹿児島空港から車で約 4 5 分 , JR 鹿児島中央駅から車で約 7 5 分</p> <p>13 : 30 ~ 15 : 00 永野金山跡見学 ( 産業遺産群を観光ガイドの説明付きで見学 )</p> <p>15 : 30 ~ 17 : 00 ガラス工芸体験・見学 ( 職人のサポートを受けながら , 製作体験・工程見学 )</p> <p>( 夕 ) 18 : 00 ~ 19 : 30 宿泊旅館・夕食 ( 地元食材をふんだんに使用 )</p> <p>( 夜 ) 20 : 00 ~ 21 : 00 奥薩摩ホテル舟乗船 ( 棹差し舟で数百万というホテルの乱舞を觀賞 ) 5 月のみ</p> <p>21 : 30 ~ 翌朝 宿泊旅館 ( 自慢泉質の温泉でお肌スベスベ )  町内旅館 ( 宮之城温泉もしくは紫尾温泉に宿泊 )</p>
2日目	<p>( 朝 ) 8 : 00 ~ 9 : 30 宿泊旅館・朝食 ( さらに贅沢な朝風呂もおススメ ! )</p> <p>10 : 00 ~ 12 : 00 鶴田ダム再開発現場見学 ( 国内最大級のダムの再開発の現場見学 )  ダム操作室・ダム内部・再開発工事現場の見学 , 鶴田ダム再開発情報館で説明を受けます</p> <p>( 昼 ) 12 : 30 ~ 13 : 30 昼食 ( さつま町ご当地グルメ「黒毛和牛たけのこ丼」に舌鼓 )</p> <p>14 : 00 宮之城鉄道記念館 ( 物産館も併設 , さつま町の特産品も購入可能 )</p> <p>14 : 50 ( 15 : 30 ) 鹿児島空港 ( 鹿児島中央駅 ) ( レンタカーを返却 )</p>

【 主な観光ポイント ( 観光地・観光箇所の歴史、由来など ) 】

【 ポイント 1 】	【 ポイント 2 】	【 ポイント 3 】
<p>＜ダム再開発現場見学＞</p> 	<p>＜奥薩摩のホテル舟＞</p> 	<p>＜永野金山跡＞</p> 
<p>インフラツアーの目玉、国内最大級の規模の再開発工事が行われている鶴田ダム。ダムの操作室やダム内部 ( 1 年中気温は約 20 ) , 再開発工事見学 ( ダム下流部や頂上部 ) など , 普段入ることや見ることでできない場所でスケールの大きさを体感 !</p> <p>さらに , 隣接する鶴田ダム再開発情報館で工事全体の説明を受けることができます。</p>	<p>静かな夜の川を棹差し舟で下りながら , 両岸を無数に乱舞するホテルの群生を觀賞するホテル舟は情緒たっぷりです。運航には , 地元住民が「ふるさとの誇り」として主体的に参加し , 町を代表するイベントとなっています。5 月にわずか 2 週間しか運航されないホテル舟は , 日常生活では味わうことができない最高の贅沢です。九州内ではさつま町だけの運航も魅力的</p>	<p>寛永 17 年に金鉱が発見され , およそ 300 年の歴史を刻んだ永野金山。現在ではわずかに残る産業遺産群から往時の繁栄が垣間見ることができます。あの西郷隆盛の子、西郷菊次郎は第 2 代京都市長などを歴任したのち、永野金山の鉱業館長を務め、夜学校等、子どもたちの育成にも力を入れました。地元観光ガイドの説明付きで見学をします。</p>
【 ポイント 4 】	【 ポイント 5 】	【 ポイント 6 】
<p>＜職人氣分を味わう＞</p> 	<p>＜美人の湯・神の湯＞</p> 	<p>＜ご当地グルメを満喫＞</p> 
<p>町内観音滝公園内に併設されたさつま町ガラス工芸館 ( 薩摩び〜どろ工芸 ( 株 ) ) にて , ガラスカットやとんぼ玉 , ガラスチップ工作等が体験や製作工程の見学ができます。</p> <p>出来上がった作品は , 後日郵送され , 世界に一つだけの旅の思い出となります。</p> <p>きらびやかに輝く薩摩切子は , 薩摩藩時代から色褪せることなく , 今も伝統とともに生き続けています。</p>	<p>さつま町は , パラエティに富んだ湯どころが点在する温泉郷で , 温泉ソムリエからも湧出する湯の泉質から「美肌湯郷」とも呼ばれています。温泉は総じてアルカリ度が高く , 美肌効果を求める方が大勢来られます。</p> <p>中でも紫尾温泉は , 神社の境内から湯が湧き出ることから「神の湯」として知られ , その湯につけ , 柿の渋を抜く , あおし柿は秋の風物詩であり , 地元の名物となっています。</p>	<p>緑あふれる山々と清流川内川には豊かな食材が溢れています。鮎や山太郎カニ , 川エビ , 猪や鹿肉 , たけのこなど , さつま町ならではの郷土料理が宿泊旅館や飲食店で楽しめます。さつま町は県内でも有数のたけのこの産地で早掘たけのこが有名。さらに , ご当地グルメとして , 新鮮素材にこだわった , 町内産たけのこ町内産黒毛和牛をふんだんに使用した旨味たっぷりの「丼」です。</p>